



コスモス

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする子どもの育成」

『身に付けたことは荷物になりません』という始業式でのお話

「3学期の始業式での校長の話」より。・・・・・・・・

あけましておめでとうございます。・・・今年もよろしく願いいたします。・・・

今日は1月8日。1月は何日学校で勉強する日がありますか・・・・・・・・17日です。じゃあ、2月は？・・・・・・・・18日。3月は？・・・・・・・・15日。でも、6年生は卒業するので、他のみなさんより少し短くて12日です。1月(17日)+2月(18日)+3月(15日)。足し算すると・・・・・・・・50日。6年生は47日です。

でも、みなさんは1学期も2学期も学校で勉強してきました。何日ぐらい勉強してきたと思いますか？4月(16日※1年生は15日)+5月(21日)+6月(20日)+7月(14日)+9月(19日)+10月(22日)+11月(20日)+12月(17日)。暗算した人いますか？(翌日6年生の暗算の達人に尋ねたところ、できていたということだった。あの場で答えてもらえばよかったかな。)・・・・・・・・149日。

1学期と2学期でどんな勉強をしましたか？(急に尋ねたが、多くの子から答えが返ってきた。)

こんなにたくさんのごことができるようになった！身に付けた！わけです。

これが、もしも「荷物だったら」って考えてみてください。1年生だっていっぱい荷物を持っているけれど、6年生はもうこれは大変だよ。右手にひらがなとたしざん。左手には九九と割り算。背中には水泳のクロールや、社会科の県の名前。右足には英語。左足には音楽のリコーダー。もう大変です。重くて、重くて・・・・・・・・

6年生！今までたくさんのごを勉強してきたから、それが重くて、重くて大変ですか？(いいえ。)そうなんです。できるようになったこと、身に付いたこと、覚えたことは、「荷物にはなりません」。1つのことができるようになると、新しいこともどんどんできるようになります。でも、1回できるようになっても、できなくなってしまふこともあります。だれでも、忘れることだってあります。そんな時はどうすればいいですか？・・・・・・・・繰り返してやれば身に付きます。あなたの頭や体の中に入れてしまえば、荷物にはなりません。

今の学年で勉強するのは、あと50日ぐらい。その間に、どんどん頭や心や体のお勉強をして、ぜ～んぶ身に付けて、重い荷物を持たないで、軽々と今の学年を終えることができるようにしましょう。今日からスタートです。・・・・・・・・

上のような内容のお話をしました。

「習う(勉強する)」のと、「身に付ける」のとは違います。授業で1回習っただけですべてしてしまうものもあるかもしれませんが、そう簡単にはいかないものも多いです。九九などは、いい例かもしれませんが。何度も何度も口に出して唱えて練習して、お家の人にも聞いてもらって、ミニ検定などを何度も繰り返すと思います。順唱(小さい方から)や逆唱(大きい方から)やランダムに出題して答えるというのがあります。他のこともそうです。「なんとかできる。」→「いつでもできる。」になっておくと、もう大丈夫です。全ての教科について、全ての子どもたちをそういう状態にすることを目指して、3学期も取り組んでいきます。ご家庭でもご協力をいただければ大変ありがたいです。

3年生の俳句作り

国語の勉強の中に、日本の文化の一つである「俳句」があります。3年生では、俳句に慣れ親しむことを目標に勉強していますが、講師の小野詔子先生と影路子先生をお迎えして、俳句づくりにもチャレンジしました。

まず、俳句には欠かすことができない季語をたくさん見つけました。そして、その中から自分が好きな季語を使って、5・7・5の俳句を作ってみました。テーマは「冬休みの思い出」です。みんな一生懸命に作りました。1つの俳句には季語は1つ、という俳句のルールも学びながら、言葉を選び、考えながら、素敵な俳句がたくさんできました。どの子どもとてもよくがんばりました。講師の小野先生・影先生、ありがとうございました。

